

2015.9.7

田村委員提出資料

質の向上フレーム避難場所としての  
避難所

## 生活場所としての避難所

	緊急 生命の確保	応急 生命の継続	復旧 フローの復旧	復興 ストックの再建
支援対象	避難行動	避難生活 の開始	仮住まい生活 への移行期の 避難生活	生活再建期の 避難生活
目標	命の危険が及 ばない	最低限の生活 を確保する	心身の健康を 維持する	地域社会への 帰還を促進す る

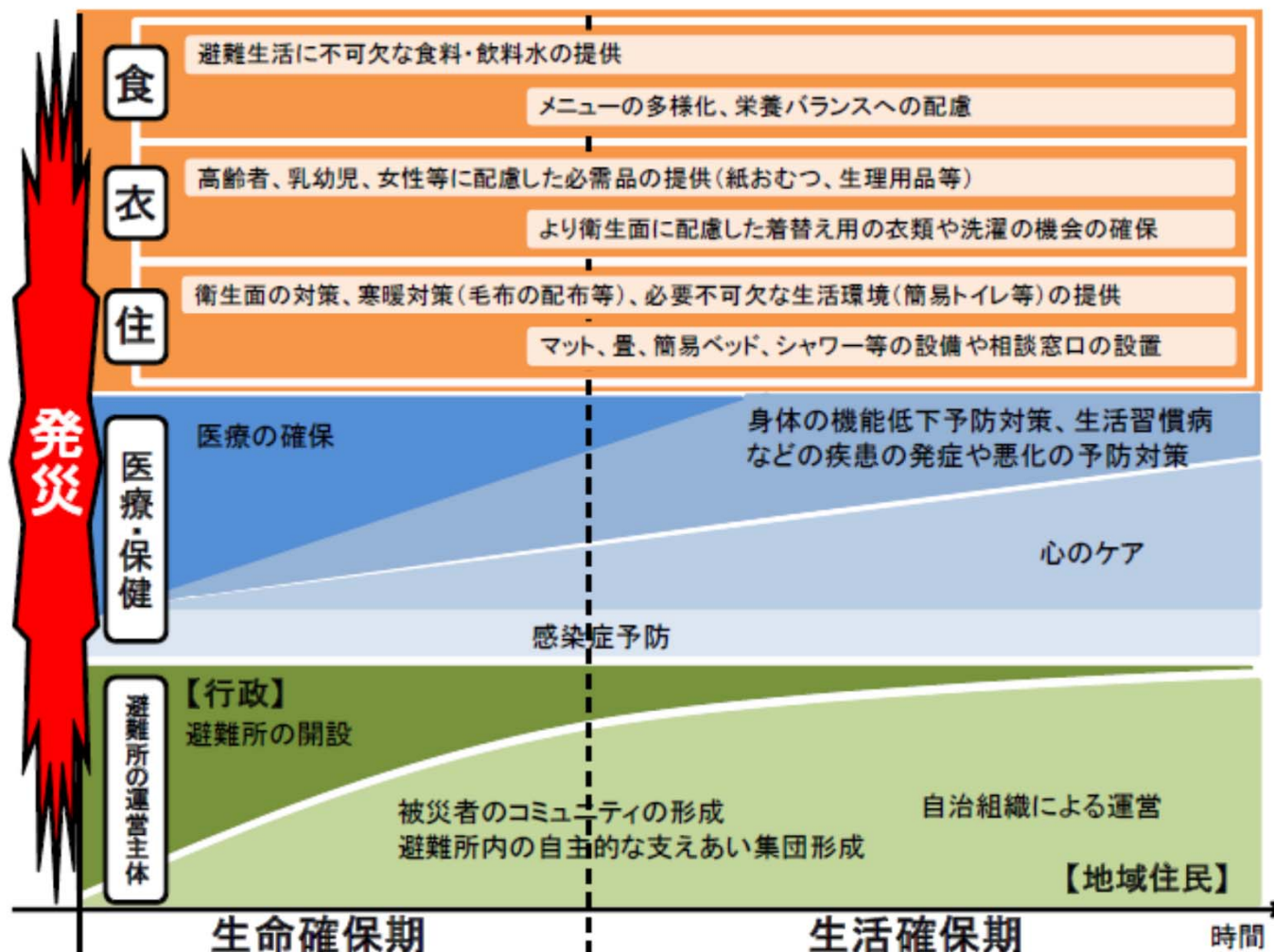
## 目指すべき支援の目標

衣	毛布の確保	おむつや生理用品 等、不可欠品の確保	衣服の確保	自身で 衣服を確保できる
食	生命を 維持できる	特別食の確保 定期的な食事	空腹を感じない	暖かい食事を 定期的に
住	—	雨風がしのげる	衛生的に 過ごせる	安心して過ごせる
医(医療・保健・ 福祉)	—	DMAT	救護所 保健指導 認知症等の対応	医師の巡回 健康指導 介護サービスへの移行
職(社会生活)	—	—	学校の再開 職の確保活動	学校・仕事が 継続的に戻る
趣(生活のハリ)	—	—	—	見守り・聞き取り アクティビティの実施

## 避難所におけるフェーズごとに重要となる事項

- 「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針(平成25年8月)」作成時の検討会で指摘された、避難所におけるフェーズごとに重要となる事項は以下のとおり。

### <避難所におけるフェーズごとに重要となる事項>



### 【フェーズの定義】

#### 生命確保期:

発災直後に避難・救助により助かった命の確保が最優先事項となる時期

#### 生活確保期:

次第に生活が安定し始め、被災者自身による自治的な運営が行われる時期